

訪問看護ステーションすぽっとです。

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当施設の現在のスタッフは看護師7名、理学療法士6名、作業療法士3名(非常勤含む)の体制で対応しております。自宅の療養環境や症状、状態に合わせたサービスを提供しております。
- ・なんでもや工房 SpotLab(スポットラボ)は、訪問看護ステーションすぽっとの付帯施設として事務所1階に開設、リハビリテーション分野でのモノづくりを目指したオープン工房です。3Dプリンターやレーザーカッター等を活用し、個人のニーズにあった道具等の作製をするファブリケーションラボを目指しております。
- ・「ファブリケーションラボ」とは、個人的な思いに根ざしたモノづくりの場。主な取組(デジタル機器を利用した町のモノ作り工作室)
 - 1 利用者さんの自助具(アシストツール)の製作
 - 2 モノづくりのワークショップ(子供から大人まで)
 - 3 医療・福祉職の方へのモノづくりセミナー(ファブ×リハ研究会)



1階 SpotLab
2階訪問看護ステーションすぽっとと事務所



工房内風景

ファブリケーション機器
(3Dプリンター&レーザーカッター)

＜リハビリテーションに関する連絡先＞

- 訪問看護ステーションすぽっと
住所：〒981-1226 名取市植松 1-4-10
電話：022-381-6520 / ファクシミリ：022-381-6525
- なんでもや工房 SpotLab(スポットラボ)
電子メール：spotlab1410@gmail.com

岩沼
地区

リハビリネットワーク通信 第16号

(平成30年5月発行)

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503 (直通)

Qにお答えします

Q. 生活支援で工夫していることを教えてください。
(宮城県リハビリテーション支援センター)

A. できているから気づかないということもあるので、今までの生活動作、方法などのクオリティを上げ、より豊かに生活できることを目指してリハビリ中の会話からも得られる情報を大切にしています。

バトンでつなごう 一問一答 ~紹介リレー~



次回：デイサービスセンターにこトピア名取
さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

Q. 利用者さんの自宅の環境評価は、独自の評価様式がありますか？

リハビリ川柳

「ユーモアと 前向きなリハが 生む奇跡」(作業療法士)

【解説】主治医も驚くほど、進行が緩やかな難病の利用者さんがいます。その理由は医師も本人もわからないそうですが、本人と家族が誰よりも前向きに生活を楽しんでおり、それこそが理由ではないかと思っています。

「四季の変化 手の温度から 感じる日」(作業療法士)

【解説】訪問時に利用者さんに手を触れることで、その日の気温や季節の変化を指摘されることがあり、外になかなか出ない方にも気候を伝えることができます。ありがとうございました。

「陽を仰ぎ 濃いと知るかな コブシの彩」(訪問利用者様)

【解説】いつも部屋のベッドから、見ていたコブシの花が、今年は外で直に眺められた時に感じられた花の彩りの濃さを詠いました。